

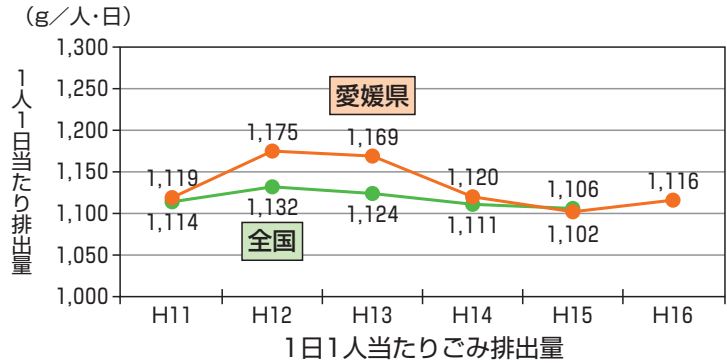
2

廃棄物の排出、処理の現状と課題

1. 一般廃棄物（ごみ）の現状

(1) ごみ排出量

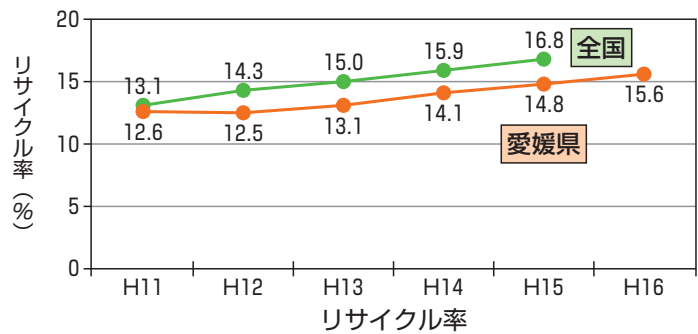
平成16年度におけるごみ排出量は610千トンです（1人1日当たり排出量は1,116gです）。排出量は、平成12年度をピークに減少傾向にあります。



(2) リサイクル

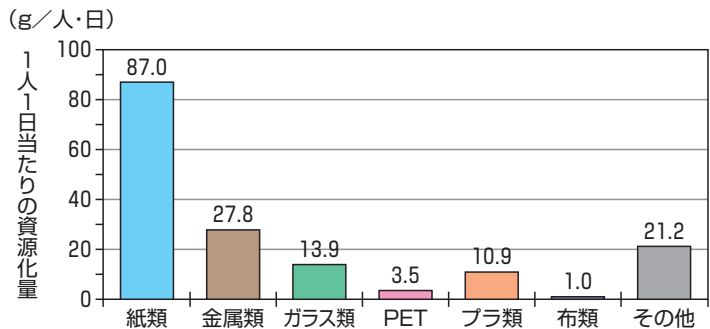
① リサイクル率

平成16年度のリサイクル率は15.6%で、全国平均値を下回って推移しています。



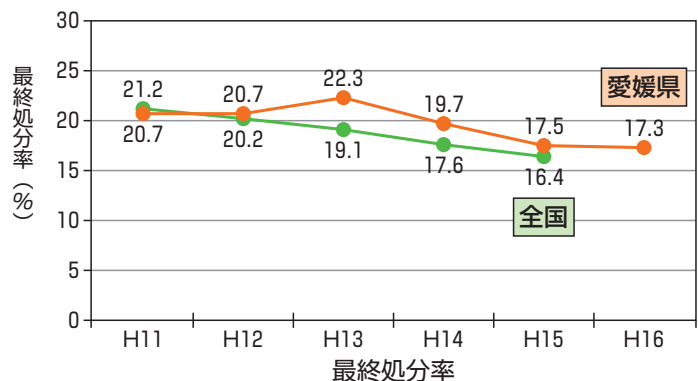
② リサイクルの品目

市町で資源化されている主なリサイクル品目は、紙類、金属類、ガラス類、PETボトル、プラスチック類等となっています。



(3) 最終処分

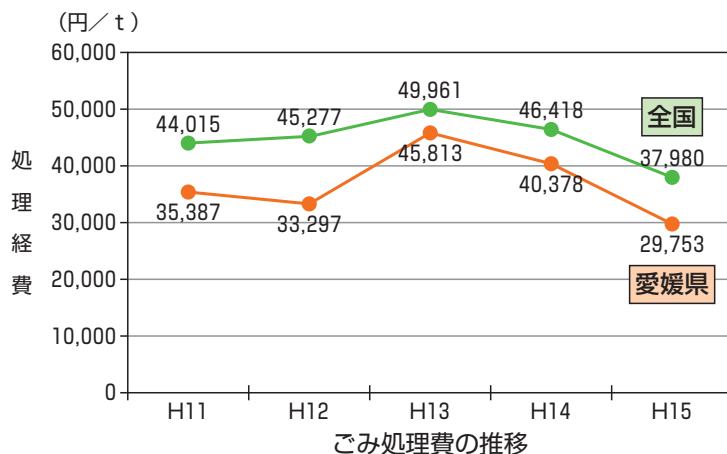
ごみ処理量に対する最終処分量（焼却灰、資源化処理残さ等）の割合を示す最終処分率は、平成12年度以降全国平均値より高く、平成11年～13年度にかけて上昇した後は減少傾向に転じています。



(4) ごみ処理経費

搬入されたごみ1トン当たりの処理経費は平成15年度で約3万円と全国平均より低い水準にあり、平成13年度以降は減少傾向にあります。

ごみ収集袋1個の重量を5kgと仮定すると、ごみ1袋を処理するための経費は、約150円となります。



(5) 処理施設

廃棄物処理施設は一般に竣工後15~20年程度が更新時期とされていますが、本県の焼却施設で竣工後20年以上の施設数は25施設中2施設です。また、本県の不燃・粗大ごみ処理施設で竣工後20年以上の施設数は32施設中11施設あり、粗大ごみの破砕設備を有する施設は17施設で、補修・再生品の展示、住民啓発を行うリサイクルプラザが4施設あります。

参考 一般廃棄物の処理フロー (平成16年度)

